

1日も早い復興をお祈り申し上げます

校長 小杉 栄樹

「令和2年7月豪雨」が、熊本県を中心とする九州地方をはじめ日本全国を襲いました。たくさんの尊い命が奪われ、今なお2千人以上の方々が、不自由な避難所生活を余儀なくされています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、熊本県をはじめ、被災された地域の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

地域の皆様に見守られている子供たち

6月27日(土)に子供センター事業で、地域の皆様や育友会役員さんのご協力のもと、正門前の三角公園や寺町通沿いの花壇にたくさんのきれいな花苗を植えてくださいました。コロナウイルス感染症対策のため、例年のように子供たちは参加できなかったのですが、きれいに咲いたマリーゴールドやペチュニアたちが子供たちの登下校を見守ってくれています。



砂山小学校の子供たちは、今年度も地域の皆様に見守られながら育てていただいています。毎日子供たちの登下校を見守ってくださる方々がいます。雨の日も風の日も毎日見守ってくださっています。「私たちも子供たちから元気もらっています」というありがたい言葉もいただいています。ただただ感謝です。本当にありがとうございます。毎月1日と15日には交通指導員の方々や育友会の皆様のご協力に登校指導もいただいています。子供たちの安全についていろいろな問題が生じています。学校、保護者、地域の皆様が連携しながら子供たちの安全を見守っていききたいと思います。保護者の皆様におかれましてもご協力の程をよろしくお願いいたします。



地域の方々に感謝します

今年度で3年目を迎える、コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の取組を進めているところです。学校と保護者、地域の方々との間の信

頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むことを目的としています。

このコミュニティスクール活動の一環として、地域に暮らす先輩の方々の力をお借りし、「**地域先達との協働・連携による学校教育力充実事業**」に取り組んでいます。この取組では、砂山地区婦人会や老人クラブの皆様にご協力いただき、低学年の学習支援や図書室の整理、本の読み聞かせ等、子供たちの学習や生活のサポートをしています。本当にありがとうございます。



本校の教育方針に加え、このような活動も含めて「砂山小学校学校運営計画書(スクールプラン)」に示しています。砂山小学校のホームページに掲載していますのでご覧ください。

ろう学校のお友達と 楽しく交流しました

7月20日(月)5限に、ろう学校から3人のお友達を迎えて、6年生の子供たちが「コースター作り」に挑戦しました。なかなか難しく根気のいる作業でしたが上手に作っていました。今後各学年でも交流が始まります。50年以上続く、他の学校にはない価値のある取組です。今年度も楽しい交流を通して素敵な学びにしていきます。



マスクを寄付していただきました

子供たちが校区探検でお世話になっているスーパーサンワ内にある竜宮城の嶋本憲三様が来校してくださり、マスク1000枚を学校に寄付してくださいました。また砂山郵便局様からもマスクを寄付していただきました。新型コロナウイルス感染症対策に有効活用させていただきます。地域の皆様に支えられています。皆様本当にありがとうございます。

